

プロセス定義書 (PDD) - 新入社員オンボーディング登録自動化

本ドキュメントは、人事シェアードサービス部門における新入社員の情報登録業務を自動化するためのプロセス定義書（サンプル）です。UiPath for Coding Agents の検証用として、標準的な Dispatcher/Performer 構成および REFramework の適用を想定した構造で記載しています。また、ブログ読者が検証しやすいよう、対象システムに「RPA Challenge」を利用するシナリオとしています。

1. プロセス概要

毎日、新規採用された従業員の情報が記載された CSV ファイルが指定のフォルダに配置されます。ロボットはファイルを読み込み、指定の Web システムへ 1 件ずつ登録を行います。

項目	説明
プロセス名	HR_NewHire_Onboarding_RPAChallenge
実行頻度	毎日 07:00 AM
入力データ	CSV ファイル（当日の新入社員リスト）
対象システム	社内ポータル（検証用として https://rpachallenge.com/ を使用）

2. 業務フロー詳細手順

本プロセスは、安定性と拡張性を考慮し、「データのキューへの追加（Dispatcher）」と「データの処理（Performer）」の 2 フェーズに分割して処理します。

フェーズ 1 : Dispatcher（データ取得とキュー登録）

- 共有フォルダ（/fs-prod-hr/benefits/inbox/）から、当日日付の CSV ファイル（例: NewHires_YYYY-MM-DD.csv）を検索します。

2. CSV ファイルのスキーマおよびデータ検証（空行チェック、必須項目の有無）を行います。
3. 検証に合格したデータを、UiPath Orchestrator のキュー（キュー名: NewHireOnboarding_Challenge）に 1 件ずつ追加します。

フェーズ 2 : Performer（ポータルへのデータ入力と登録）

1. UiPath Orchestrator のキューからトランザクションアイテムを 1 件取得します。
2. 対象システム (<https://rpachallenge.com/>) を開きます。
3. キューから取得した従業員情報を、画面上の対応するフォームフィールドに入力します。（※項目は毎回位置が変わるため、安定したアンカーベースのセレクター取得が必要です）
4. 「Submit」 ボタンをクリックします。
5. すべてのキューアイテムが処理されるまで、手順 1~4 を繰り返します。
6. 処理が完了したらブラウザを閉じます。

3. 入力データ項目定義 (フォームフィールド)

入力 CSV および対象システムのデータ項目は以下の通りです。Coding Agents によるオブジェクトリポジトリや変数の自動生成の検証にご活用ください。

フィールド名	データ型	必須項目
First Name	String	必須
Last Name	String	必須
Email	String	必須
Phone Number	String	任意
Address	String	必須
Company Name	String	必須

フィールド名	データ型	必須項目
Role in Company	String	必須

4. 例外処理ルール

- **ビジネス例外 (BusinessRuleException):** CSV 内の必須項目が不足している場合は、対象データをスキップし、Orchestrator キューのステータスを「ビジネス例外」としてエラー理由を記録して次のデータに進みます。
- **システム例外 (SystemException):** システムの応答停止（タイムアウト）や画面項目の取得に失敗した場合は、ブラウザを一度閉じ、アプリケーションを再起動して最大 3 回までリトライを試みます。それでも解決しない場合は処理を中断し、管理者に通知します。